

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社葵プロモーション

コード番号 9607 URL <http://www.aoi-pro.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高瀬 哲

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 八重樫 悟

TEL 03-3779-8000

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,456	△15.3	271	△6.7	61	△73.2	200	—
21年3月期第3四半期	11,164	—	291	—	230	—	△181	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	16.75	16.68
21年3月期第3四半期	△14.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	15,242	8,909	57.6	737.27
21年3月期	16,591	8,964	53.5	741.96

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,781百万円 21年3月期 8,877百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	16.00	23.00
22年3月期	—	7.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	16.00	23.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	82.9	460	106.4	130	33.4	250	—	20.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 13,334,640株 21年3月期 13,334,640株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,423,786株 21年3月期 1,370,254株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 11,956,463株 21年3月期第3四半期 12,165,364株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

[(注)業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。]

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年からの最悪の状態からは脱したものとされます。しかしながら、企業部門が円高や昨秋の緊急経済対策の一巡等から回復の足取りが鈍化し、家計部門もエコポイント・エコカー減税効果があるものの、雇用・所得環境の改善が見られず相変わらず力強さを欠いており、予断を許さない状況が続いております。

当広告業界におきましても、わが国経済の動きを反映し広告需要が大きく落ち込んだままの状態が続き、加えて当社が主力とするテレビコマースの需要は、メディアの新しい展開による広告媒体の多様化等の影響もあり更に厳しい状況にあることには変わりはありません。

このような環境の中にありまして、当社グループでは、グループ各社の組織を挙げて業績の維持・向上に向けて鋭意努力してまいりました。しかしながら広告需要減少の影響が思いのほか大きいものでした。

当社は、売上が計画はもちろん前年実績までも下回り、10数年前の水準まで落ち込みました。利得的には、制作原価率の低減や固定費の抑制が奏功し、不本意ではありますが最小限の減少で止めることができました。

前年同期総じて不振であった子会社は、それぞれの経営努力が奏功し、改善傾向にあります。

債務超過に陥り再建を図っている㈱ワサビ(旧㈱メイアンスパイク)と前期に創業以来初めて欠損を計上した㈱エムズプランニングは、営業努力が実り大幅増収となり黒字転換しました。

前年同期間に減価償却費負担増等から欠損を計上した㈱メディア・ガーデンは、グループ内製強化策や減価償却費負担減等により減収ながら黒字転換しました。

前期実質初めての欠損計上となった㈱葵デジタルクリエイションは、制作原価率の低減や固定費の抑制が奏功し、減収ながら黒字転換しました。

㈱デジタル・ガーデンは、増床・人員増による固定費の増加を増収でカバーし引き続き安定した業績を維持しております。

創業実質2年度目の㈱スクラッチは、顧客開拓途上にあり黒字転換には今しばらく時日を要する見込みです。

前期第3四半期初からグループ入りした㈱シースリーフィルムは、制作管理体制強化策実施等の結果、水面下ながら大幅改善をしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高94億5千6百万円(前年同期比84.7%)、営業利益2億7千1百万円(前年同期比93.3%)、経常利益6千1百万円(前年同期比26.8%)、四半期純利益2億円(前年同期は、四半期純損失1億8千1百万円)でした。

なお、デジタルサイネージネットワーク開発及び生活行動情報流通事業等を推進するため、昨年4月に立ち上げた㈱タクサシステムズ(現払込済資本305百万円、持分法適用会社)に係る持分法投資損失が、弊社グループの出資が先行する増資スケジュールの関係から、当第3四半期連結累計期間では、当連結会計年度末に想定される比率以上で算出された数値で、営業外損失に計上されております。

また、上記新規事業の開発費用等の㈱シースリーフィルムから㈱タクサシステムズへの譲渡に係る事業譲渡益と、前期に貸倒引当金計上の対象となった映画作品に係る売掛金が回収されることとなり貸倒引当金戻入額が、特別利益に計上されております。

主要部門別の営業状況は、映像制作事業部門が売上高85億5千9百万円(前年同期比83.4%)、その他の事業部門が売上高8億9千7百万円(前年同期比99.9%)でした。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の資産合計残高は152億4千2百万円(前連結会計年度末比13億4千8百万円減)となりました。これは、現金及び預金(7億3千4百万円増)等もありませんでしたが、主に売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金(22億7千2百万円減)の減少等によるものです。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の負債合計残高は63億3千2百万円(前連結会計年度末比12億9千3百万円減)となりました。これは、主に仕入高の減少により支払手形及び買掛金(4億5千7百万円減)や借入金(5億2千万円減)の返済等によるものです。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の純資産合計残高は89億9百万円(前連結会計年度末比5千4百万円減)となりました。これは、主に四半期純利益(2億円)及び配当金の支払い(2億7千5百万円)によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ、7億3千8百万円増加しました。これは、主に営業活動及び財務活動による収入が投資活動による支出を上回ったことによるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、17億7千4百万円（前年同四半期比17億1千7百万円増）となりました。これは、主に売上債権の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億2千万円（前年同四半期は、得られた資金1千6百万円）となりました。これは、主に投資有価証券の取得等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、8億1千5百万円（前年同四半期は、得られた資金6億4千万円）となりました。これは、主に長短借入金の返済及び配当金の支払い等の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、最悪期を脱し緩やかな回復に向かうものの、一時的に「踊り場」入りするものと思われます。不安定さを残しつつも中国や新興国の堅調な動きに牽引される世界経済の回復の足取りから外需は立ち直りますが、内需は、これまでの景気対策の反動等景気の下振れリスクを抱えており民主党を中心とする新政権の家計部門へ配慮した経済政策も雇用や社会保障制度への不安を払拭しなければその効果も半減しかねないと思われます。併せて、今回経験した外需依存型経済の脆さからの脱却を図るべく、内需拡大を考慮した将来に向けた施策（新エネルギー・環境・少子高齢化・災害防止・農業振興等々）を早期に実施しないと、停滞が長期化する懸念もあります。

広告需要は、暫くは冷え込んだまま推移することが予想されます。また、映像制作業界を取り巻く環境も広告媒体の多様化で変わってまいりました。

ワンストップサービスに対応できる体制の整った制作会社としての強みを活かし、引き続き積極的な営業活動を展開するとともに制作原価率の低減や固定費の節減に努め、メタボリックな体質から10数年前の筋肉質な体質に改善する所存であります。

通期の連結業績の見通しにつきましては、期初の予想を変更した平成21年11月6日の公表のとおり、売上高139億円（前連結会計年度比82.9%）、営業利益460百万円（前連結会計年度比106.4%）、経常利益130百万円（前連結会計年度比33.4%）、当期純利益250百万円（前連結会計年度は、当期純損失2億8千9百万円）を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価計算の方法

年度決算では実際原価計算によっておりますが、四半期決算では社内経費については予定価格を適用しており、これにより生じた原価差異を仕掛品と売上原価へ配賦しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(持分法の適用範囲の変更)

㈱タクサシステムズは、第1四半期連結会計期間に株式を取得したため、持分法適用の範囲に含めております。

第1四半期連結会計期間より、従来、持分法適用関連会社であった㈱葵オプトビジュアルマーケティングは営業を休止しました。その結果、利益剰余金等に及ぼす影響が軽微となり、かつ、全体としても重要性がなくなりましたので、持分法の適用範囲から除外しております。

【表示方法の変更】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「のれん償却額」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。
なお、前第3四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「のれん償却額」は10,586千円であります。
2. 前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「持分法による投資損益(益)」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。
なお、前第3四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「持分法による投資損益(益)」は4,451千円であります。
3. 前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「投資有価証券売却損益(益)」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。
なお、前第3四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「投資有価証券売却損益(益)」は7,584千円であります。

【追加情報】

(役員退職慰労引当金の変更)

当社は、従来、役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたが、平成21年6月26日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止を決議いたしました。役員退職慰労金制度の廃止決議までに計上された金額は、当該役員退職時に支払うこととされております。

これにより、役員退職慰労引当金123,470千円を取崩し、固定負債「長期未払金」に振替えております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,360,222	1,625,377
受取手形及び売掛金	4,619,625	6,891,936
仕掛品	799,541	468,725
貯蔵品	23,298	25,633
その他	514,739	313,064
貸倒引当金	△10,087	△13,709
流動資産合計	8,307,339	9,311,028
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,566,073	3,566,073
その他(純額)	1,348,331	1,429,266
有形固定資産合計	4,914,405	4,995,340
無形固定資産		
のれん	147,553	190,564
その他	112,048	141,341
無形固定資産合計	259,601	331,905
投資その他の資産		
投資有価証券	778,450	725,157
その他	995,322	1,382,959
貸倒引当金	△12,699	△155,223
投資その他の資産合計	1,761,074	1,952,893
固定資産合計	6,935,081	7,280,139
資産合計	15,242,420	16,591,168
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,071,364	1,528,952
短期借入金	1,992,879	2,728,391
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	36,009	258,898
賞与引当金	30,808	100,740
役員賞与引当金	1,500	—
その他	544,733	555,600
流動負債合計	3,697,294	5,192,582
固定負債		
長期借入金	2,355,961	2,141,158
長期未払金	127,453	5,869
退職給付引当金	77,758	87,587
役員退職慰労引当金	37,966	161,053
負ののれん	14,859	19,569
その他	21,325	18,798
固定負債合計	2,635,324	2,434,036
負債合計	6,332,619	7,626,618

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,323,900	3,323,900
資本剰余金	3,944,754	3,944,754
利益剰余金	2,413,118	2,488,035
自己株式	△904,248	△878,530
株主資本合計	8,777,524	8,878,159
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,953	△1,067
評価・換算差額等合計	3,953	△1,067
新株予約権	33,852	—
少数株主持分	94,470	87,456
純資産合計	8,909,801	8,964,549
負債純資産合計	15,242,420	16,591,168

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	11,164,502	9,456,726
売上原価	9,724,035	7,871,141
売上総利益	1,440,467	1,585,585
販売費及び一般管理費		
役員報酬	283,903	247,177
従業員給料	264,016	354,137
株式報酬費用	—	28,944
賞与引当金繰入額	4,888	5,648
役員賞与引当金繰入額	3,750	1,500
退職給付費用	31,115	13,225
役員退職慰労引当金繰入額	17,054	20,544
貸倒引当金繰入額	1,266	795
のれん償却額	10,586	29,510
その他	532,454	612,197
販売費及び一般管理費合計	1,149,036	1,313,682
営業利益	291,430	271,903
営業外収益		
受取利息	1,327	556
受取配当金	4,612	4,244
為替差益	1,812	2,444
受取保険金	1,863	22,137
負ののれん償却額	4,710	4,710
その他	10,127	10,452
営業外収益合計	24,452	44,545
営業外費用		
支払利息	69,831	72,413
持分法による投資損失	4,451	169,497
その他	10,957	12,824
営業外費用合計	85,239	254,735
経常利益	230,643	61,713

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,527	—
貸倒引当金戻入額	16,297	135,913
投資有価証券売却益	6,974	28,418
持分変動利益	—	47,969
事業譲渡益	—	124,996
保険解約返戻金	12,049	23,924
その他	—	12,207
特別利益合計	36,849	373,430
特別損失		
役員退職慰労金	129,615	—
投資有価証券売却損	14,558	—
投資有価証券評価損	56,893	4,360
保険解約損	9,639	—
貸倒引当金繰入額	13,514	—
固定資産除却損	1,015	2,150
会員権評価損	10,730	7,914
持分変動損失	534	—
事務所移転費用	—	21,857
事務所移転損失引当金繰入額	—	56,588
特別損失合計	236,502	92,871
税金等調整前四半期純利益	30,990	342,272
法人税、住民税及び事業税	123,458	36,096
法人税等調整額	96,283	98,911
法人税等合計	219,742	135,007
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,569	7,013
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△181,181	200,251

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,480,241	3,307,813
売上原価	3,009,003	2,708,394
売上総利益	471,238	599,418
販売費及び一般管理費		
役員報酬	99,125	79,370
従業員給料	99,365	108,505
株式報酬費用	—	626
賞与引当金繰入額	4,888	5,049
役員賞与引当金繰入額	1,250	500
退職給付費用	14,603	634
役員退職慰労引当金繰入額	4,047	1,256
貸倒引当金繰入額	795	—
のれん償却額	10,586	8,336
その他	199,054	208,512
販売費及び一般管理費合計	433,717	412,791
営業利益	37,521	186,626
営業外収益		
受取利息	276	153
受取配当金	1,924	1,650
為替差益	—	913
受取保険金	380	20,374
負ののれん償却額	1,570	1,570
その他	3,075	3,629
営業外収益合計	7,227	28,291
営業外費用		
支払利息	27,237	24,938
持分法による投資損失	4,906	23,189
為替差損	1,907	—
その他	4,851	3,962
営業外費用合計	38,901	52,090
経常利益	5,846	162,827

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,527	—
貸倒引当金戻入額	2,250	128,813
投資有価証券売却益	6,974	—
持分変動利益	—	47,969
保険解約返戻金	12,049	23,924
特別利益合計	22,802	200,708
特別損失		
保険解約損	160	—
投資有価証券評価損	25,600	4,360
投資有価証券売却損	14,558	—
会員権評価損	5,764	6,600
貸倒引当金繰入額	7,518	—
固定資産除却損	377	1,503
事務所移転費用	—	21,857
事務所移転損失引当金繰入額	—	4,562
特別損失合計	53,980	38,883
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△25,330	324,652
法人税、住民税及び事業税	68,618	19,858
法人税等調整額	13,446	43,924
法人税等合計	82,064	63,782
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△12,090	1,162
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△95,304	259,706

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,990	342,272
減価償却費	292,066	246,313
のれん償却額	—	29,510
持分法による投資損益(△は益)	—	169,497
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△28,418
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,517	△146,146
退職給付引当金の増減額(△は減少)	112,904	△9,829
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△101,130	△1,502
賞与引当金の増減額(△は減少)	△58,156	△69,932
受取利息及び受取配当金	△5,939	△4,800
支払利息	69,831	72,413
為替差損益(△は益)	4,189	△28
売上債権の増減額(△は増加)	1,209,540	2,403,876
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,367,063	△328,480
事業譲渡損益(△は益)	—	△124,996
その他の流動資産の増減額(△は増加)	6,609	△49,587
仕入債務の増減額(△は減少)	△89,635	△457,587
その他の負債の増減額(△は減少)	211,527	49,345
その他	94,672	834
小計	408,891	2,092,754
利息及び配当金の受取額	5,906	4,750
利息の支払額	△66,849	△72,892
法人税等の支払額	△290,942	△250,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,007	1,774,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△191,613	△182,278
有形固定資産の売却による収入	7,069	176
無形固定資産の取得による支出	△24,008	△7,559
投資有価証券の取得による支出	—	△306,182
投資有価証券の売却による収入	53,954	163,584
保険積立金の解約による収入	298,085	49,930
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△54,743	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△72,252	61,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,491	△220,937

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	269,578	△969,800
長期借入れによる収入	1,380,000	1,230,000
長期借入金の返済による支出	△674,800	△780,909
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	—	16,520
少数株主からの払込みによる収入	5,300	—
自己株式の取得による支出	△647	△25,717
配当金の支払額	△328,474	△275,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	640,956	△815,075
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,189	28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	710,265	738,117
現金及び現金同等物の期首残高	910,811	1,584,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,621,076	2,322,500

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

映像制作事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 受注及び販売の状況

部門別売上高明細表

(単位：千円、%)

		前年同四半期 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当四半期 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
CM作品	オリジナル	7,386,486	66.1	6,021,049	63.7	10,904,547	65.0
	改訂	369,086	3.3	208,904	2.2	429,737	2.6
映像作品		1,216,118	10.9	1,094,601	11.5	2,476,397	14.8
その他	プリント	684,261	6.1	602,422	6.4	908,571	5.4
	企画等	609,726	5.5	632,410	6.7	919,253	5.5
映像制作事業		10,265,679	91.9	8,559,388	90.5	15,638,508	93.3
その他の事業		898,822	8.1	897,337	9.5	1,127,307	6.7
合計		11,164,502	100.0	9,456,726	100.0	16,765,815	100.0

部門別受注状況明細表

(単位：千円)

		前年同四半期 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当四半期 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	
		受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CM作品	オリジナル	6,843,586	1,384,300	5,853,569	625,800	9,770,627	793,280
	改訂	313,086	17,500	160,404		404,737	48,500
映像作品		2,062,302	916,107	1,222,360	217,551	2,490,265	89,792
その他	プリント	684,261		602,422		908,571	
	企画等	628,283	26,256	638,559	19,180	924,585	13,031
映像制作事業		10,531,520	2,344,164	8,477,317	862,531	14,498,787	944,603
その他の事業		898,822		897,337		1,127,307	
合計		11,430,343	2,344,164	9,374,655	862,531	15,626,094	944,603

(2) 経営指標等の状況

平成22年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (21年4月～21年6月)	第2四半期 (21年4月～21年9月)	第3四半期 (21年4月～21年12月)	第4四半期 (21年4月～22年3月)
売上高	2,809,600	6,148,913	9,456,726	
売上総利益	364,588	986,166	1,585,585	
営業利益(損失)	104,672	84,496	271,903	
経常利益(損失)	160,243	101,290	61,713	
税金等調整前四半期(当期)純利益(損失)	138,333	17,620	342,272	
四半期(当期)純利益(損失)	121,096	59,454	200,251	

平成21年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (20年4月～20年6月)	第2四半期 (20年4月～20年9月)	第3四半期 (20年4月～20年12月)	第4四半期 (20年4月～21年3月)
売上高	3,331,701	7,684,260	11,164,502	16,765,815
売上総利益	344,979	969,228	1,440,467	2,133,089
営業利益(損失)	31,157	253,909	291,430	432,308
経常利益(損失)	46,395	224,796	230,643	388,875
税金等調整前四半期(当期)純利益(損失)	194,333	56,321	30,990	51,638
四半期(当期)純損失	148,221	85,876	181,181	289,648

平成20年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (19年4月～19年6月)	第2四半期 (19年4月～19年9月)	第3四半期 (19年4月～19年12月)	第4四半期 (19年4月～20年3月)
売上高	3,250,467	7,884,330	11,711,828	17,250,438
売上総利益	438,339	1,142,401	1,652,576	2,215,011
営業利益	82,734	480,129	675,216	839,032
経常利益	78,632	455,301	633,464	781,343
税金等調整前四半期(当期)純利益	80,728	476,169	648,163	727,221
四半期(当期)純利益	2,334	188,640	253,175	277,433